

協定企業名	三愛石油株式会社
交流行事名	「三愛石油オブリの森」体験型環境研修
開催日時	平成28年10月16日（日） 9:55～15:30
開催場所	「三愛石油 オブリの森」（本山町古田 民有林）ほか
主な参加者・人数	三愛石油(株)社員の皆さん（35名）、三愛石油(株)ライフプランセミナーの皆さん（14名） 汗見川活性化委員会（1名）、本山町（17名）、高知県（6名） 総勢73名
概要	間伐体験、食事交流会、餅つき体験、稲刈り体験
当日の様子	<p>天気予報では雨が心配された今年の「三愛石油オブリの森」体験型環境研修には、総勢35名の三愛石油社員の皆さんと関連企業の皆さんに参加していただきました。また、14名の三愛石油のライフプランセミナーの皆さんに見学していただきました。</p> <p>古田集会所に到着すると、早速開会式を行いました。本山町の今西町長から歓迎の挨拶と、三愛石油の金田社長から社員の皆さんへ研修の意義などについてお話しがありました。そして、車に分乗して、いざ間伐体験へ！！</p>   <p>今年の間伐地は、作業道を車で10分程移動したあと、徒歩で5分程歩き、5つの班に分かれて、作業道から上下の林地に少し入ったところでした。</p> <p>間伐作業は、汗見川活性化委員会の山下会長と、本山町及び県の職員の指導のもとに行われました。</p>   <p>今回の作業現場は、立ち枯れしたスギやヒノキがあり、まさに間伐が必要な状況です。成長の良くない木を中心に間伐していきます。</p> <p>指導を受けながら、まず、その木をどちらに倒すか、周りの木の様子や枝の付き方、木の重心を見定め、方向を決めます。</p> <p>倒す方向が決まれば、社員の皆さんが手ノコで一生懸命に息を切らせて切り口を入れています。まず受け口を作ります。水平に下切りを入れてから、次に斜め切りを入れます。斜め切りの角度を合わせる事が少し難しかったようです。続いて、慎重に方向を確認したうえで追い口を入れていきます。つるを残して、定めた方向にゆっくりと伐</p>

倒できると、拍手と歓声が起こっていました。伐り倒した木は、隣の民有地にはみ出さないように、小切りをして運ぶ体験もしました。

社員の皆さんには慣れない手ノコで作業していただきましたが、一人1本ずつ、順調に伐倒することができました。小切りをして運ぼうとしても、木が重くて難しいことも体感されました。皆さん、間伐作業の大変さを痛感されたのではないのでしょうか。

間伐体験は1時間程度で終了し、記念に集合写真をパチリ。金田社長がみずからチェーンソーで輪切りしたヒノキのコースターが配られていました。



間伐体験の後は、地元のさわやかなシソジュースをいただきました。

その後は、汗見川ふれあいの郷「清流館」に移動して、お楽しみの昼食会です。汗見川生活改善グループの皆さんがつくってくださった鹿肉のメンチカツや、そば粉100%のそば団子汁、じゃこ飯、こんにゃくのカルパッチョ、タケノコの天ぷら、チャーテの酢物など、たくさんの種類のお料理に舌鼓を打ちました。



お腹が満腹になった後、社員の皆さんで協力して餅つき体験です。ヨモギ入りのお餅と白いお餅の2種類をつき、アンコを包んで出来上がりです。お腹は満腹ですが、つきたてのあたたかいお餅は、皆さんに大好評の様子でした。



午前中はなんとか雨は降らず、青空がのぞいていましたが、昼食をとり終わったところから、小雨がぱらつき始めました。空の様子と相談しながら、午後からは稲刈り体験です。

あいにく雨合羽を着ての作業となりましたが、小雨の間に刈り終わろうと、社員の皆さんが団結して、そして和気藹々の雰囲気の中で一生懸命刈っていきました。そして過去最速のスピードですべての稲を刈り終えました。刈った稲は乾燥した藁を使って束ね、丁寧に稲束をつくり、はで組みをしました。落穂も残さないように拾い、天日干しにして、稲刈り体験は終了しました。



最後は、「清流館」に戻り、来年の再会を楽しみにしつつ、閉会となりました。閉会式の後には、ぼうむ合同会社、早明浦ダムなどを見学して一路高知龍馬空港へ。三愛石油の社員の皆さん、そして関連企業の皆さん、本山町での体験はいかがでしたか。来年も是非、本山町へお越しください。